

## 高津第三地区

### 桜や花々を楽しみながらウォーキング 「春の歩こう会」

高津第三地区社会福祉協議会老人福祉部では、4月7日（月）に「春の歩こう会」を開催しました。

「春の歩こう会」は、身近な二か領用水沿いの新緑風景を鑑賞しながら、ウォーキングにより足腰の衰え防止と健康増進を図ること、高齢者同士の交流の機会づくりを目的としています。

当日は57名が参加し、用水沿いの満開の桜や色とりどりの花に思わず足を止め写真を撮ったり、途中休憩で話にも花



を咲かせながら、晴天のなか二子いこいの家から等々力緑地を目指し4kmを歩きました。お弁当を食べた後は、等々力緑地で開催されている「全国都市緑化かわさきフェア」も満喫し、自然に囲まれた1日になりました。

## 橘地区

### 橘ふるさと祭り 大盛況のゲームコーナー

8月3日（日）に川崎市民プラザで「橘ふるさと祭り」が開催され、橘地区社会福祉協議会では、地域交流部会・企画調査部会・青少年部会が合同で「射的」と「紙飛行機飛ばし」のゲームコーナーを運営しました。

ゲームは、まず紙飛行機とストロー鉄砲を自分で工作するところからはじめます。小さな子ども連れの方も多く、保護者も一緒になりながら工作やゲームを笑顔で楽しんでいました。子供たちが景品を見てどれにしようか迷うところも、お祭りならではの楽しみです。

工作とゲームを合わせるのは初めての試みでしたが、最後まで途切れることなく参加者が並び、大盛況でした。



編集委員 横沢 かつ子 矢島 清美 小柴 博 小林 美和子 栗田 栄治 （順不同）

この広報紙は共同募金の分配金で作成されています。

高津区の福祉

# おあしす

希望の泉

今号のトピックス

- ・区社協地区社協研修会 2
- ・ピン・カフェOPEN 3
- ・上作延ミニデイ セタ 3
- ・春の歩こう会 4
- ・橘ふるさと祭り 4

第61号



令和7年9月1日

（社協の会章）

発行 川崎市高津区社会福祉協議会

川崎市高津区溝口1-6-10 てくのかわさき3階 福祉パルたかつ内

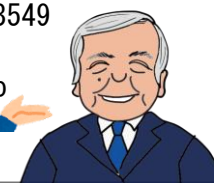
連絡先 TEL 044-812-5500 FAX 044-812-3549

<https://takatsuku-shakyo.jp/>

E-MAIL: takatsuku@csk-kawasaki.or.jp

発行人 富田 誠（高津区社会福祉協議会会長）

編集人 おあしす編集委員会



## 町会長紹介

「楽しく仲良く  
元気のよい町づくり」

子母口南町内会



中島和夫 会長

子母口南町内会は中学校、小学校、橘公園、旭田公園、こども文化センター、そして社会福祉協議会の運営のもと地域の皆さんが利用しているいこいの家と多くの公共施設を有しており、とても環境に恵まれた地域です。

「小さなお子さんから若い方々、高齢者に至るまで、楽しく仲良く元気のよい町づくりを目指そう！」をモットーに活動を進めており、春のフリーマーケットや夏の納涼盆踊りをはじめ、旭田公園を中心に多くのイベントを幅広い世代の皆さんに大いに楽しんでいただいています。今年も、7月25日・26日の両日納涼盆踊りが旭田公園で開催されました。暑い最中でしたが大勢の皆さんにご来場いただき、とても賑やかな盆踊りになりました。

子母口南町内会の納涼盆踊りは地域の多くの方々にご協力いただいております。橘樹神社お囃子連の太鼓、子母口寿会を始め各町会の皆さんの踊り、子母口北町会の警備、子母口富士見台町内会のやきとり、おやじの会の揚げパン、その他各チームのお店が並び、子母口南町内会のメンバーと一緒にとても盛大な地域を挙げての納涼盆踊りへと発展しております。

また、今年は地域の皆さんに新規ご購入いただいた提灯100張りのお披露目もしました。

これからも納涼盆踊り大会のみならず、いろいろな町会活動を通じて、掲げているモットーを大切に一步一步駒を進めていきたいと考えております。



今年の納涼盆踊りも賑やか



## 高津小学校飯塚校長先生の講演や終活、自治会における支え合い活動など3部制の研修会に85名が参加



講演をする高津小学校飯塚校長先生

高津区社会福祉協議会では、7月22日（火）午後2時から、てくのかわさき2階ホールで区社協・地区社協研修会を開催しました。

**第1部** 川崎市立高津小学校の飯塚校長先生に高津小学校での出来事やご自身の「ふるさと」である溝口周辺の歴史から、高津小学校で始めた「ふるさと たかつを知り 自分とまちの未来を考えよう」というテーマの学習活動について講演をいただきました。

**第2部** 高齢社会である現在、終活や生前整理についての関心が高まる中、川崎市社協あんしんセンター終活支援担当の菅課長と岡本職員に、市社協の未来あんしんサポート事業の概要と実際の事例について講演をいただきました。

**第3部** 近年重要視されている町内会、町会、自治会における支えあいの取り組みのきっかけ作りとして、高齢者のちょっとした困りごとに手を貸すサービス「ご近所ネット」や、高齢者の孤立化を防ぎ認知症予防を目的とした「日商ふれあい喫茶」などについて、坂戸日商自治会の亀石さんに講演をいただきました。

当日は、区社協・地区社協関係者、区役所職員合わせて85名が参加されました。参加者からは

「子ども達に自分達の「ふるさと」を教え、大切にする等の教育は素晴らしく思いました」

「未来あんしんサポート事業の説明は、とても役に立ちました。町内会の老人会にも聞かせたい」

「坂戸日商自治会の取組は、お住いの方の安心につながる活動で、とても素晴らしい活動だと思いました。私達の町会でも取り入れて欲しい」といった意見が寄せられ、有意義な研修となりました。



研修会には85名が参加

## 地域ふくし事業協力金にご協力をお願いします 高津区地域の福祉事業に役立てます

地域ふくし事業協力金（賛助会費）は、社会福祉協議会が行っている移送サービス事業による外出支援や車いす貸出し事業、ボランティア・当事者団体への活動支援、さらに地区社協が行っているいこいの家での会食会やミニデイケアなどへの配分などに使わせていただいています。

【一口1,000円でお一人何口でもご加入できます。（単年度加入です）】

\*社会福祉協議会は、社会福祉法に基づき設置された民間の社会福祉団体です。  
町会・町内会・自治会、民生委員児童委員、地域のボランティアの方々、当事者団体、福祉施設などが会員となり、お互いに連携、協力して地域福祉の推進に取り組んでいます。

## 高津第一地区

## おしゃべりとスポーツを楽しむ 「ピン・カフェ」開催



令和7年7月から久地第二いこいの家で、久地第二町会と久地いきいきクラブ主催の「ピン・カフェ」（認知症カフェ）がオープンしました。

「ピン・カフェ」は毎月第1・3水曜日の午前10時から、座って楽しめるスポーツ「ピンポンバレー」とおしゃべりを楽しむ場を提供しているほか、介護の相談等も受け付けています。

区内では他にも認知症カフェの取り組みが広がっており、今後も増えていくことが期待されます。



## 高津第二地区

## 上作延いこいの家ミニデイ 7月は季節に合わせ七夕飾りも

高津第二地区社協と上作延いこいの家運営委員会共催のミニデイを7月17日午前11時から開催しました（毎月第3木曜日開催）。7月は、季節に合わせ七夕飾りの短冊に健康への願いや平和な暮らしなどを書き記しました。

初めに、保健師さんのオーラルフレイルの話聞き、続いてみんなで歌う時間では、「たなばたさま」を始めとした夏の歌や「見上げてごらん夜の星を」を手話を交えながらみんなで合唱しました。

おたのしみの今月ランチは、夏らしいメニューで涼味うどんにデザートでした。午後からは体操とゲームを利用者とスタッフ総勢46名が声を出し、体を動かして皆で楽しみました。



中には10年以上も通っている利用者の方もいて、ミニデイ交流のつながりが参加者の励みとスタッフの力になっています。今年で32年目になるミニデイが、これからもみんなの元気な毎日に繋がるように続けていきます。

